



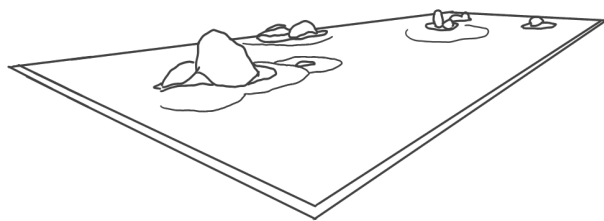
日本の美に入り込む

見建て

日本庭園で用いられる代表的な手法、「見立て」。それを建築に応用したものを「見建て」と名付けました。

鑑賞用である庭園に対して、建築は実用的な空間を作ったり中に入ることができたりします。見立てを建築に応用することで、中に入り込むことができる「新しい見立て」が完成します。

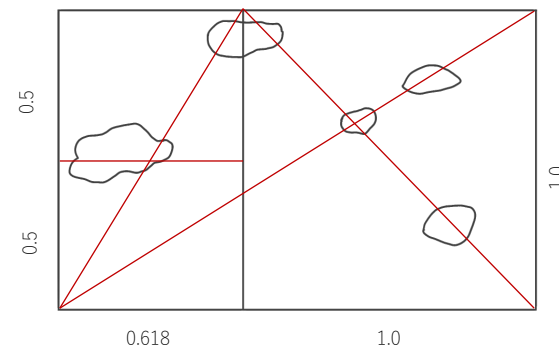
今回は龍安寺の枯山水庭園を参考にし、観光地で休憩できる空間を設計しました。



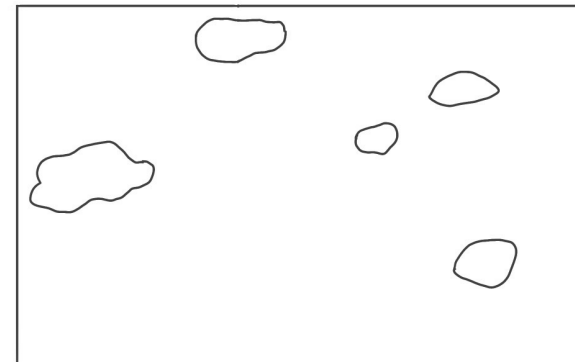
自然を見立てた龍安寺

水面に浮かぶ島々→黄金比に基づいて配置された岩（図）

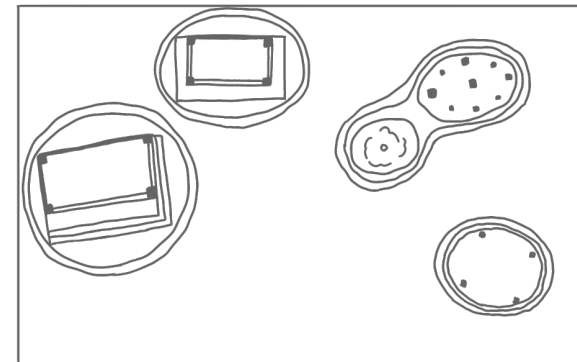
水の流れ→小石、砂



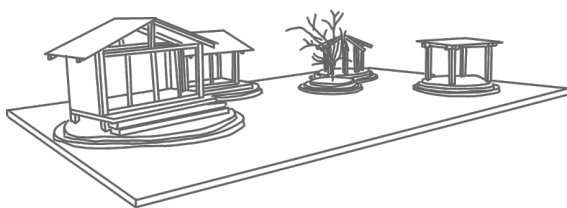
（図）



龍安寺



龍安寺を参考にした休憩所 s=1/50



自然を見建てた建築

水面に浮かぶ島々→建物、木々

水の流れ→建物を囲う階段

